



真狩 村勢要覧

データ版



1 真狩村概要

真狩村は、後志に属し、東経140°48′、北緯42°45′に位置する純農村です。
東は留寿都村、西は二セコ町・豊浦町、南は洞爺湖町を境とし、北は蝦夷富士・羊蹄山の山頂において、二セコ町・倶知安町・京極町・喜茂別町に分かれています。

村政施行日 ▶ 大正11年4月1日

交通機関 ▶ 道南バス（倶知安駅から留寿都・洞爺行き乗車）

最寄のJR駅 ▶ JR函館本線「倶知安駅」

最寄の高速道IC ▶ 道央自動車道「豊浦」「虻田洞爺湖」

面積 ▶ 114.25 平方キロメートル

人口と世帯 ▶ 総人口：2,065人

（男：1,026人・女：1,039人）世帯数：953戸（平成31年3月末現在）

村名のいわれ ▶ アイヌ語「マクカリペツ」…羊蹄山を取り巻く川より転化したもの

村の「木」▶ 木「カツラ」…開村80周年を記念して昭和50年に指定

村の「花」▶ ゆりの花、ジャガイモの花…開基120周年を記念して平成27年に指定

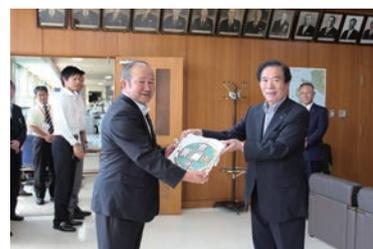
キャッチフレーズ ▶ 笑顔咲く ふれあいの村 まっかり

姉妹・友好都市 ▶ 香川県観音寺市（平成3年10月9日提携）

真狩村の姉妹都市 観音寺市

香川県の西南部に位置し、西は瀬戸内海に面し、南は徳島県や愛媛県に接しています。

人口約60,000人、面積は117.47 Km²と真狩村とほぼ同じくらいです。



真狩村の開拓期は、香川県人の神原弥吉・大平紋治ら数戸の入植に始まり、単独移民としては、香川県人が多く、中でも三豊郡（現・三豊市、観音寺市）出身が多いのが特色です。昭和61年、真狩高校生が三豊郡大野原町（現・観音寺市）で農業委託実習を始めたことを契機に両町村の交流が深まり、平成3年、大野原町と姉妹都市提携を結ぶこととなりました。

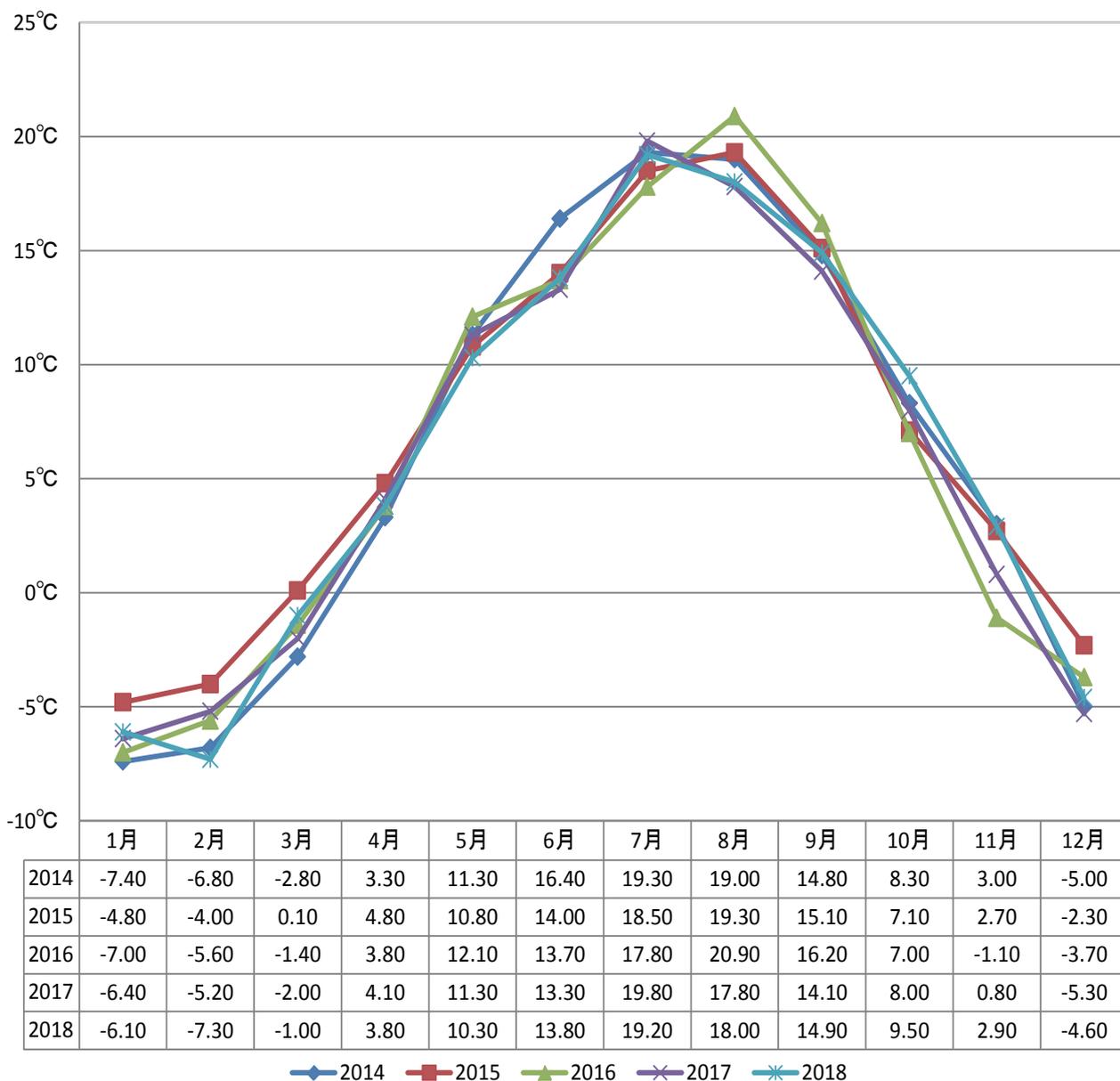
その後、平成17年に大野原町は観音寺市と合併しましたが、開基120周年記念の一環として観音寺市訪問交流事業や小学生の作品交流展示など交流を続けています。



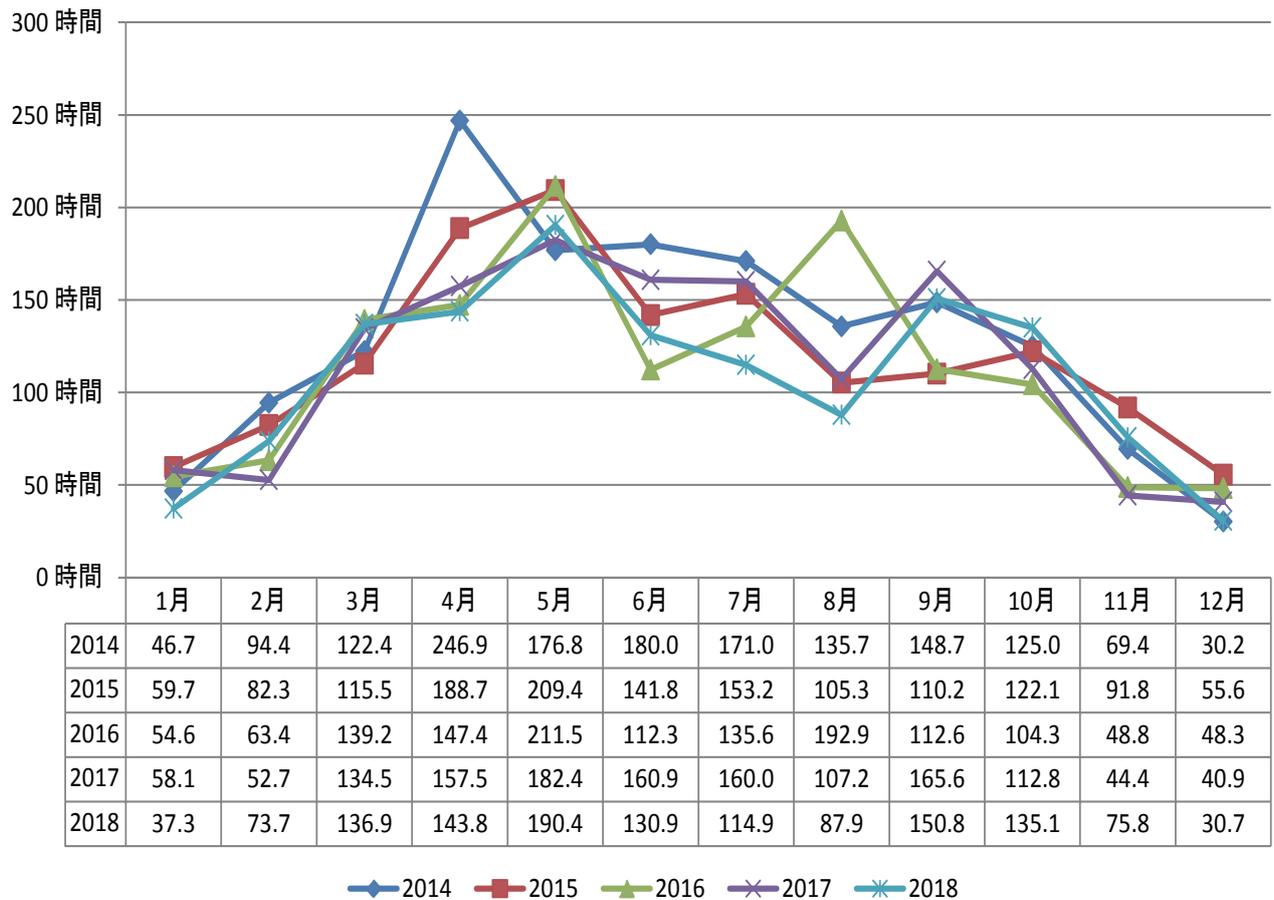
2 真狩村の気候

真 狩村の属する後志の気象は、一般的に春から夏にかけて低温であり、晴天の日が多いですが、冬期は北西の強い季節風を受け、降雪量が多くなります。根雪は11月下旬から4月上旬に及んでいます。桜の開花は、毎年5月のはじめで、連休明けに見頃を迎えます。羊蹄山麓地帯は、本村をはじめ、北海道でも降霜が早く道内屈指の豪雪地帯です。

◀ 平均気温の推移 ▶ (気象庁公表データ 美原観測所)



◀ 日照時間(月平均値)の推移 ▶ (気象庁公表データ 美原観測所)



◀ 降雪量と最深積雪の推移 ▶ (気象庁公表データ 美原観測所)



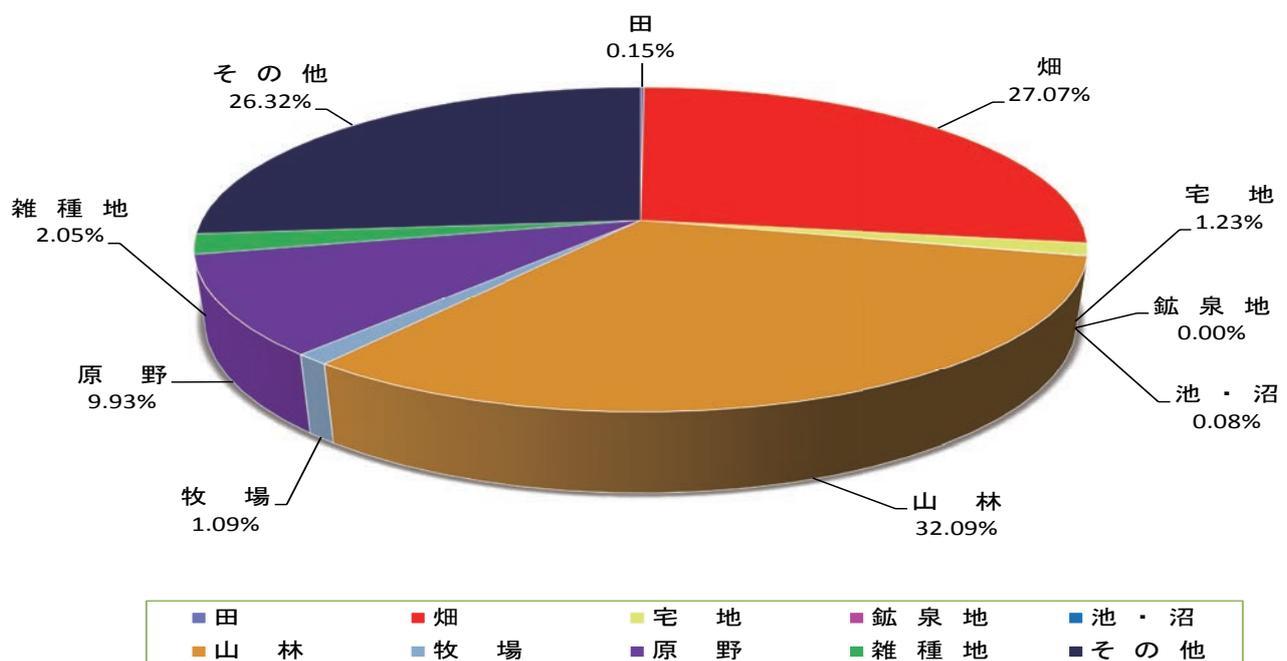
3 真狩村の地形・土地

真狩村の地形は、概ね波状系をなしており、約200m～400mの大地を形成し、起伏して南へ伸びています。総面積は、114,250㎡（平成26年全国都道府県市区町村別面積調／国土地理院公表）であり、その地目の割合は以下の通りです。

◀ 地目別土地面積・総面積 ▶（平成30年度固定資産概要調書）

地目	面積（㎡）	割合
田	167,620	0.15%
畑	30,926,423	27.07%
宅地	1,401,041	1.23%
鉱泉地	250	0.00%
池・沼	86,040	0.08%
山林	36,665,194	32.09%
牧場	1,250,834	1.09%
原野	11,350,646	9.93%
雑種地	2,336,533	2.05%
その他	30,065,419	26.32%
総面積	114,250,000	100.00%
北海道の市町村の平均	438,110,000	-

◀ 地目別面積比率 ▶



4 真狩村の山・川

北方には、蝦夷富士とも呼ばれる羊蹄山が美しい裾野を引き、やや離れて東方に尻別岳が位置し、喜茂別町・留寿都村・真狩村の3か町村で界を分けています。

留寿都村との境界を画している軍人山には、地デジ放送受信環境の向上のための「南羊蹄中継局」があり、京極町、留寿都村、真狩村全域を網羅しています。

主な山岳名	標高
羊蹄山	1,898m
尻別岳	1,107m
軍人山	561.2m
化物山	374.8m



軍人山からの羊蹄山



軍人山



化物山

真狩川は、村域の真狩原野（泉地区）を源に西に向かって流れ、南別川は、光・共明地区に源流があり、西に向かって流れ、市街地を横断して真狩川に合流します。村内を流れる河川の多くは、いずれかの地点で西流する真狩川へと合流し、真狩川は二セコ町で尻別川に合流して、日本海へと注ぎます。

主な河川名	延長
真狩川	27.4km
南別川	5.5km



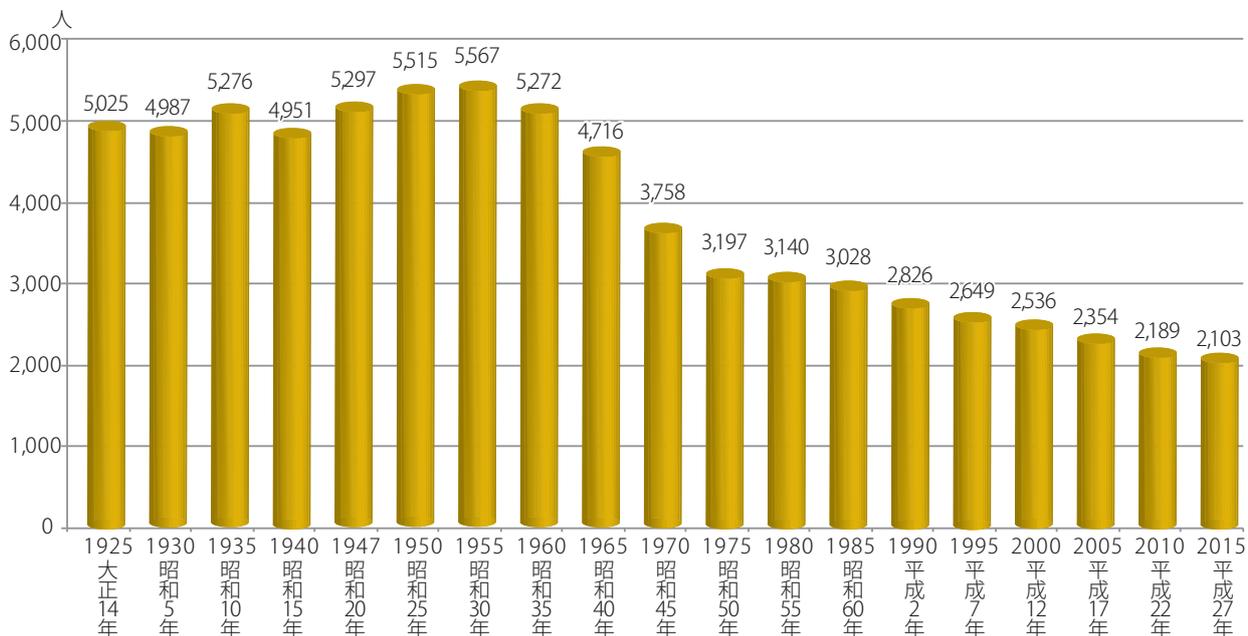
真狩川



南別川とこいのぼり

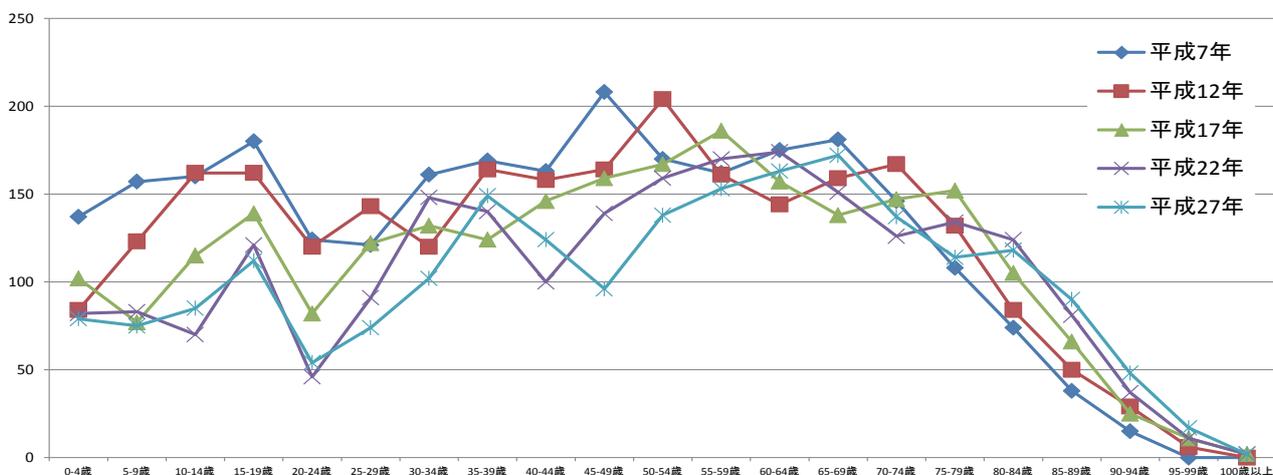
5 真狩村の人口の推移

◀ 人口の推移 ▶ (国勢調査)



真狩村の人口は、昭和22年に5,000人を突破し、昭和30年に5,567人とピークを迎え、その後減少の一途をたどり、過疎化が進行しました。昭和45年には3,000人台となり、平成2年には2,000人台、そして、平成27年の国勢調査では、人口2,103人、世帯数855世帯との結果になりました。

◀ 年齢別人口の推移 ▶ (国勢調査)



5歳ごとの年齢別での推移をみると、平成7年の調査から比べて、平成27年調査では0~30歳までの人口が減少していることがわかり、20代前半の人口の減少が顕著となっています。また、75歳以上の人口は増加しており、少子高齢化が進んでいることがわかります。

6 真狩村の産業

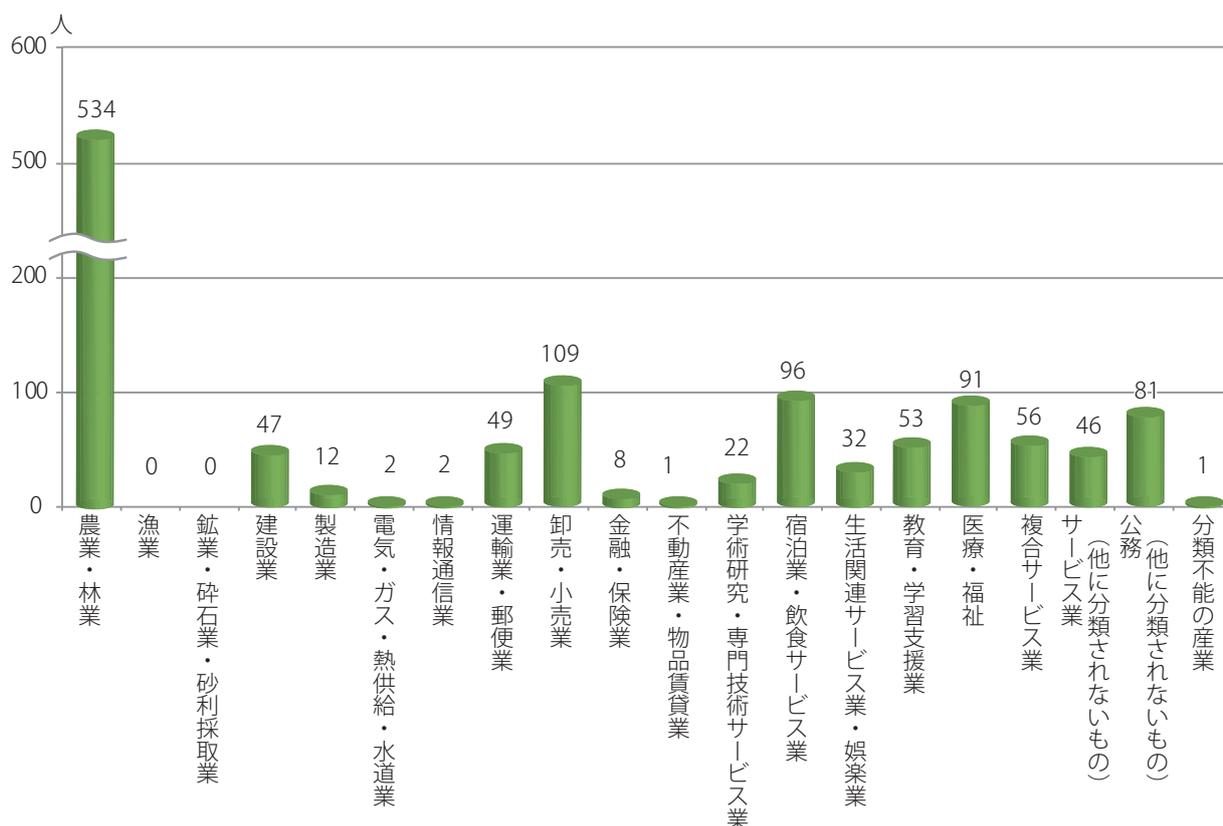
真 狩村は、農業を基幹産業としており、農業就業者が多数を占めています。
主産業である農業は、じゃがいも、ビート、小豆、小麦などの畑作物や大根、人参、ゆり根といった様々な農作物が生産されています。

特に歴史のあるじゃがいもは、デンプン加工用としてその多くが生産されてきました。長年培われた生産技術の伝承により、今日、市場評価の高いじゃがいもの生産に活かされています。

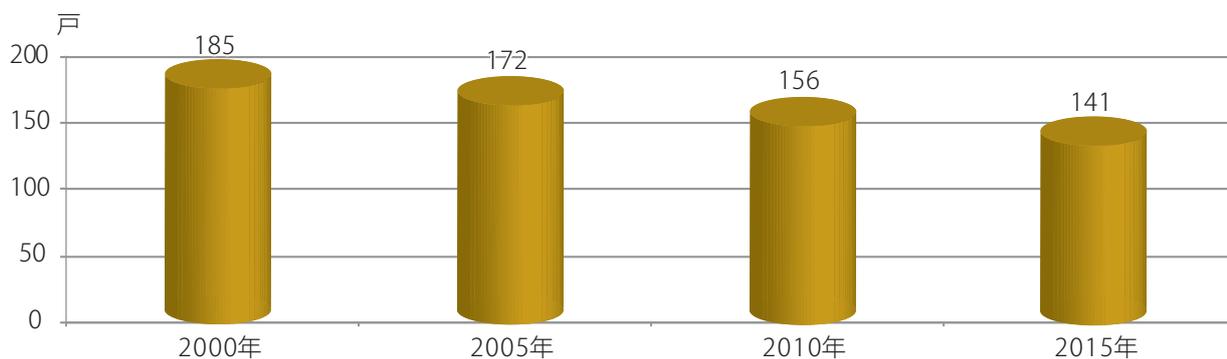
村の農業を支える作物として、大根と人参も欠かせません。道内でも有数の産地として知られ、冬の間、雪の下で寝かせ甘みが増した「雪の下人参」などが近年人気を集めています。



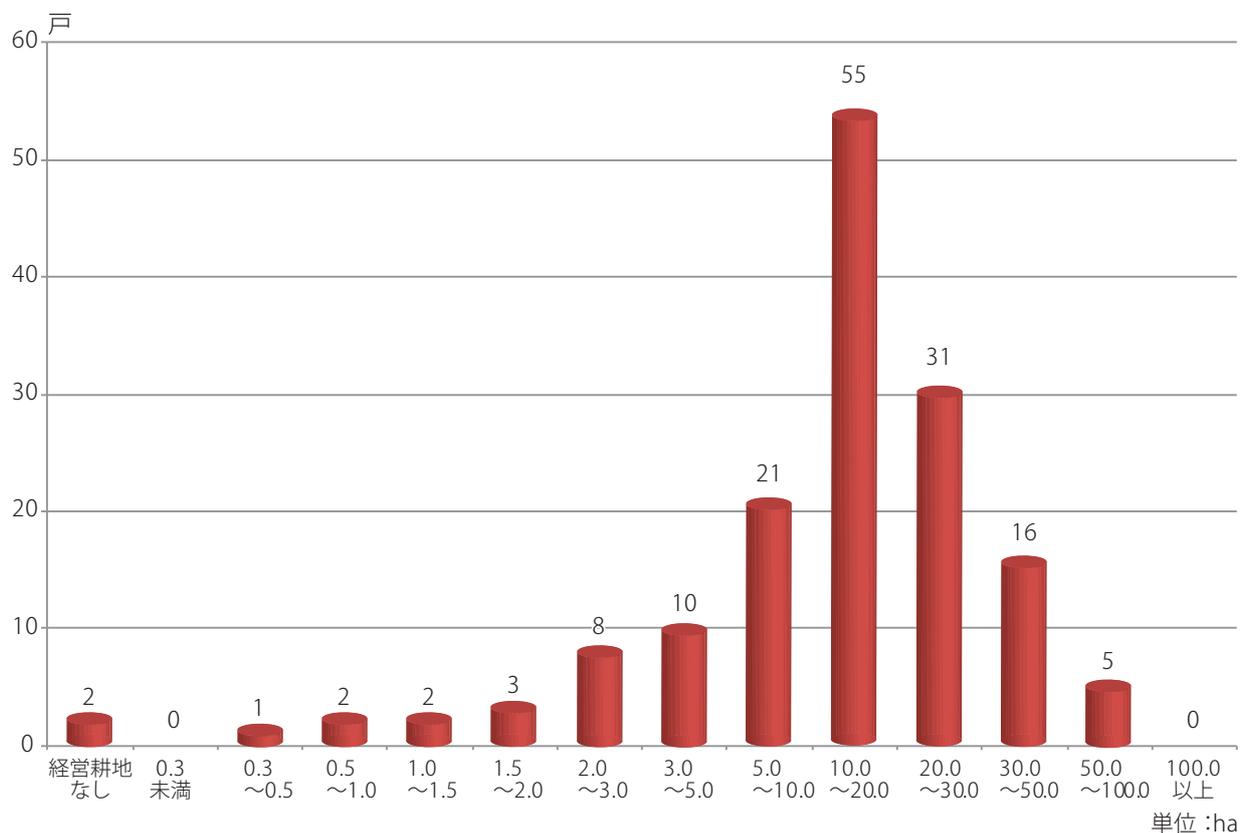
◀ 産業別 15歳以上の就業人口 ▶ (平成 27 年国勢調査)



◀ 農家数の推移 ▶ (農林業センサス)



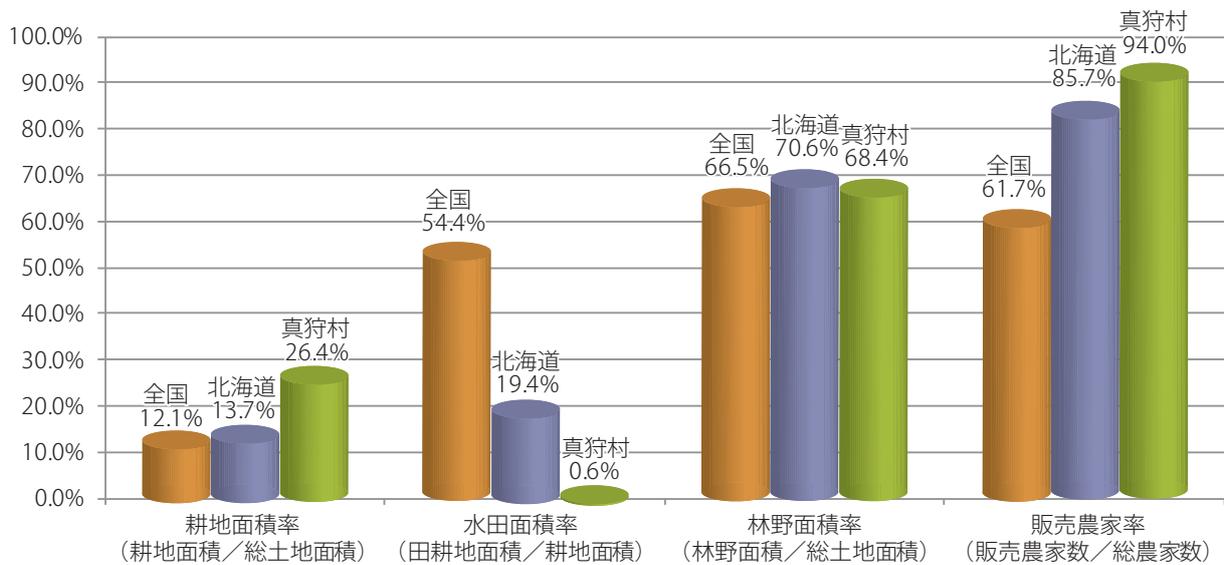
◀ 経営耕地面積規模数別経営体数 ▶ (2015 農林業センサス)



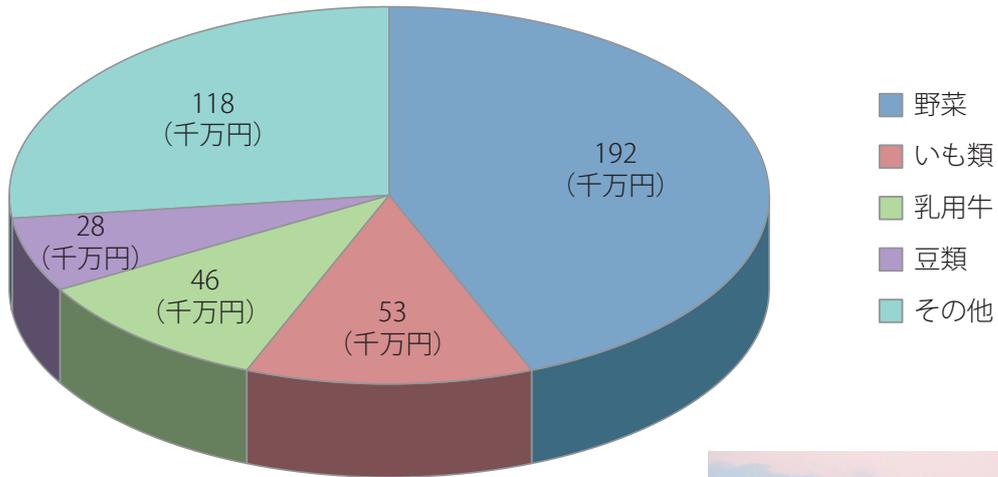
◀ 世帯等 ▶ (2015 農林業センサス)

◆ 総世帯数	855 世帯
◆ 農業経営体数	141 経営体
◆ 総農家数	150 戸
自給的農家数	9 戸
販売農家数	141 戸
主業農家数	111 戸
準主業農家数	6 戸
副業的農家数	24 戸
◆ 林業経営体数	20 経営体
◆ 漁業経営体数	-

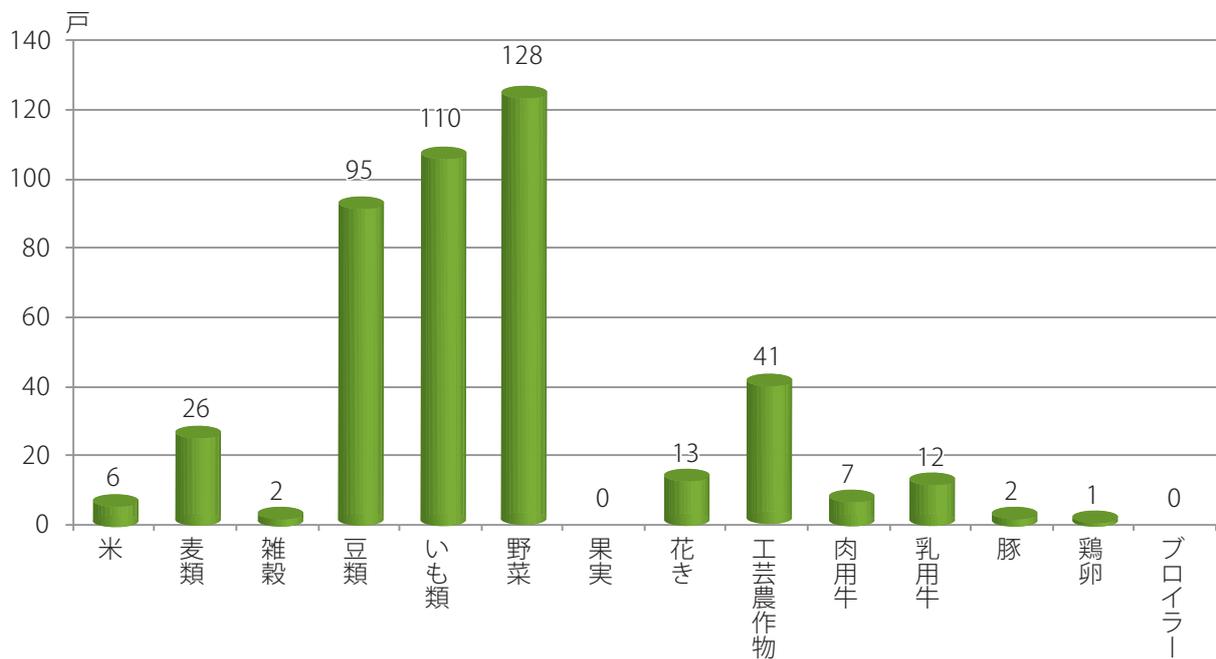
◀ 面積率グラフ ▶



◀ 農業産出額の内訳 ▶ (2015 農林業センサス)



◀ 農業経営体数 ▶ (2015 農林業センサス)



ゆり根あれこれ

真狩村
イメージキャラクター
ゆり姉さん



ゆり根は、国内生産の約98%が北海道産で、その中でも真狩村は道内作付の約4割を占めます。真っ白でりん片が一枚一枚しっかりと重なり合った最上級の真狩産ゆり根は品質も日本一を誇っています。

村での栽培は、昭和36年に自家用栽培していた在来種の増殖を試みたのがはじまりで、昭和41年には「真狩村ゆり根生産組合」が設立され、本格的な栽培に取り組みました。現在は、苦みの少ないコオニユリを交配親とする品種「白銀」を栽培しています。

栽培にはとても手間がかかり、収穫まで5～6年という長い時間を要します。春から秋まで、土の中で栄養をたっぷりと蓄え、冬は一旦、収穫しておかずの中で休眠し、また春に土の中へと戻されます。一度植えた畑には数年植え、毎年畑を転々としながら育てます。農作業の機械化が進んでいる今ですが、ゆり根は植え付けから収穫、選別まで、ほぼ手作業です。生産量は日本一の北海道ですが、関西で消費されることが多く、茶わん蒸しなどの料理に高級食材として利用されます。近年、村ではコロケをはじめ、カステラやプリン、モンブランなどゆり根料理やお菓子が誕生しています。



ゆり根の栄養

栄養面では、カリウムの含量が高く、鉄、リン、カルシウムなども豊富。

良質のでんぷんをたっぷり含んでおり、たんぱく質はじゃがいもの2倍、加熱によるビタミンCの損失が少ないのも特徴です。

また、グルコマンナンと呼ばれる食物繊維が豊富で、便秘や整腸に効果的、中国から伝わった当初は薬用として食されていたというのも、栄養価の高さがうかがえます。



● 100gあたりの主な栄養成分比較

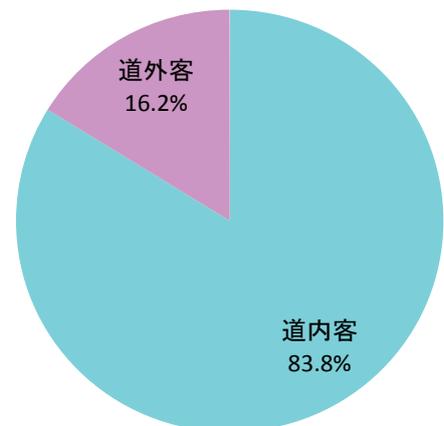
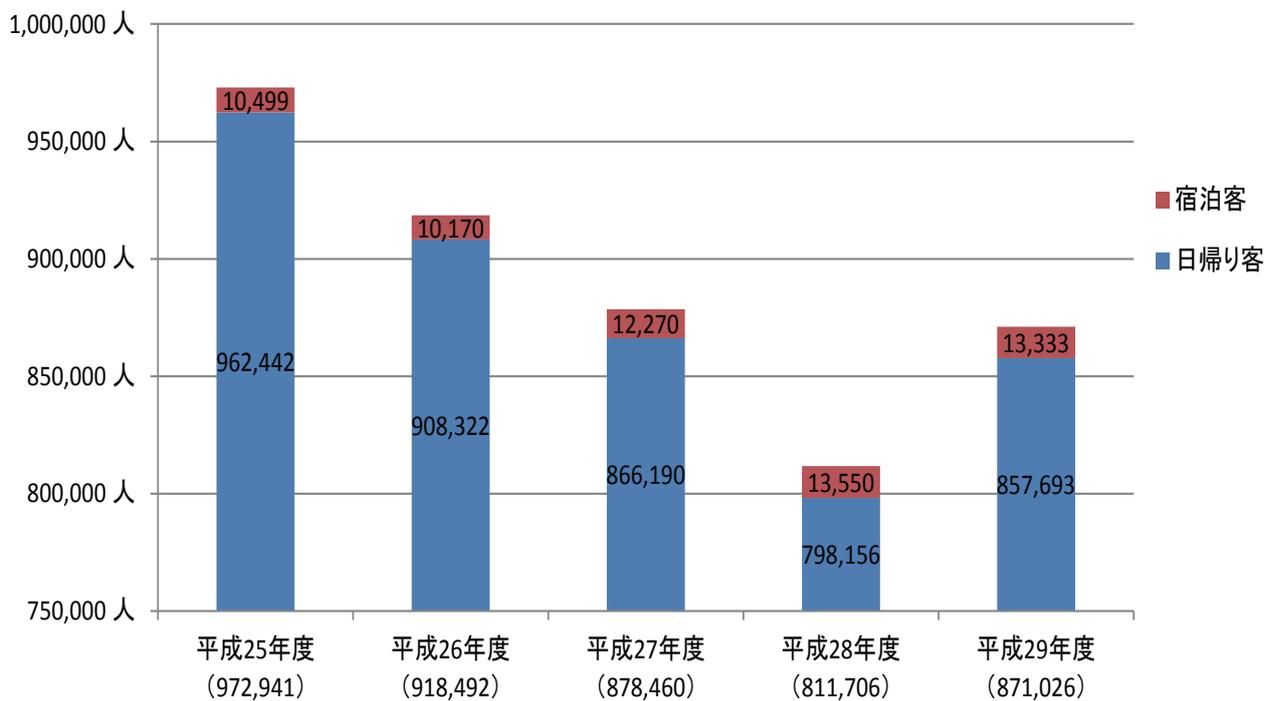
	生	ゆで
たんぱく質 (g)	3.8	3.4
炭水化物 (g)	283	28.7
カリウム (mg)	740	690
カルシウム (mg)	10	10
鉄 (mg)	1	0.9
ビタミンB1 (mg)	0.08	0.07
ビタミンB2 (mg)	0.07	0.07
食物繊維 (g)	54	6

7 真狩村の観光

北 海道洞爺湖サミットで各国の首脳夫人の会食会場となったレストラン・マッカリーナをはじめ、羊蹄山の名水に魅了され、味にこだわる職人が集まる真狩村では、名水の恵みを受けた農産物をたっぷり味わえます。

ホテルなどの大型宿泊施設がないことから宿泊と日帰りの比率は圧倒的に日帰りが多くなっています。

◀ 観光施設入込客数の推移 ▶ (総務企画課商工観光係調べ)



道の駅
真狩フラワー
センター



真狩神社参道桜並木



ユリ園コテージ



樹木園カツラ並木

ゆり姉さん

- 真狩村のイメージキャラクター。
- 女子高生をモチーフに、村の特産品「ゆり根」をPR。



羊蹄山真狩登山コース



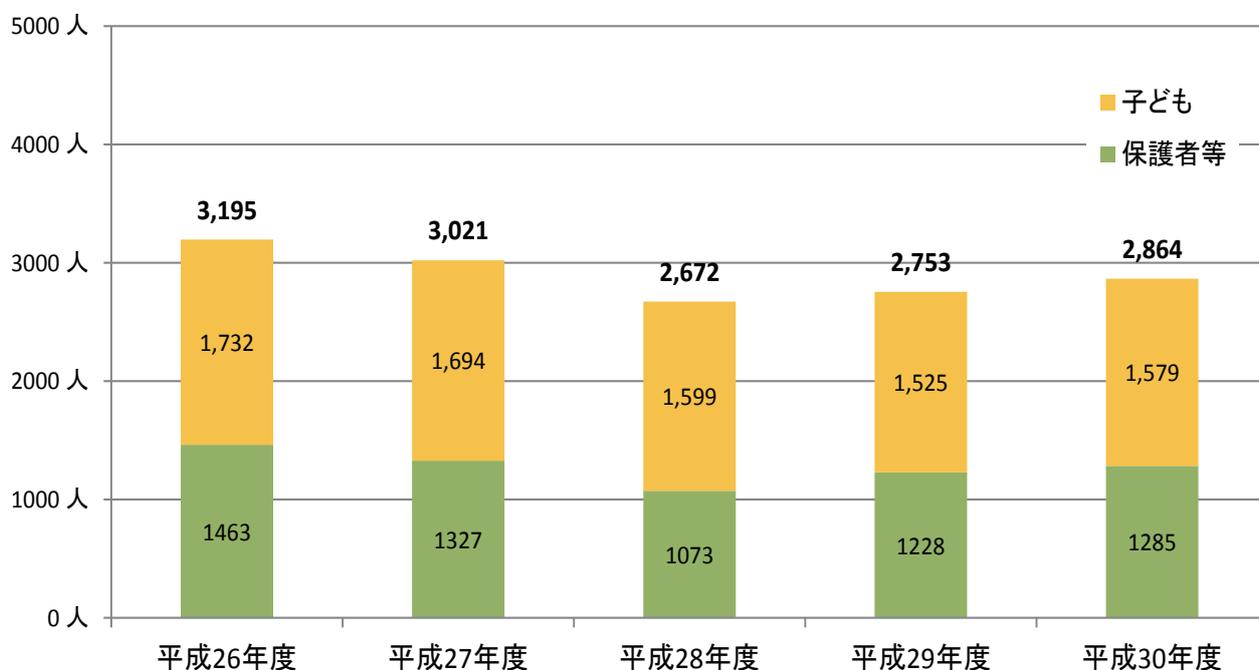
フラワーロード



8 真狩村の福祉・子育て

子育てに優しい社会・働きやすい環境づくりを目指し、1年間利用できる「まっかり保育所」と4月～11月まで御保内地区の方が利用できる「御保内保育所」の2つの村立保育所があります。また、子育ての不安等を和らげ、子どもの健やかな育ちを応援するために設立された子育て支援センターゆうゆうは、開放時間中、自由に出入りができ、気軽に利用できます。子育て中の保護者や就学前の子ども向けに講座が行われたり、一時預かりもあって好評です。

◀子育て支援センターゆうゆう利用者数の推移（延べ人数）▶ （子育て支援センターゆうゆう調べ）



保育所



ゆうゆう

9 真狩村の医療・防災

医療機関は、野の花診療所・村山歯科真狩診療所があり、真狩村の医療を支えています。また、特定健診等を実施し、特定保健指導で結果説明や生活改善指導など増加する生活習慣病対策、各種がん検診による病気の早期発見、健康に関する相談の場としてすこやか相談や運動教室などの健康づくりを行っています。

村から防災無線を1世帯に1台貸与し、普段は村からのお知らせなどを放送していますが、地震など災害時、緊急時に重要なお知らせを放送します。さらに各世帯に防災のしおりを配布し、災害時の対応についてや、避難所・ハザードマップ等いざという時に慌てず行動できるよう備えています。



野の花診療所



村山歯科診療所



防災無線

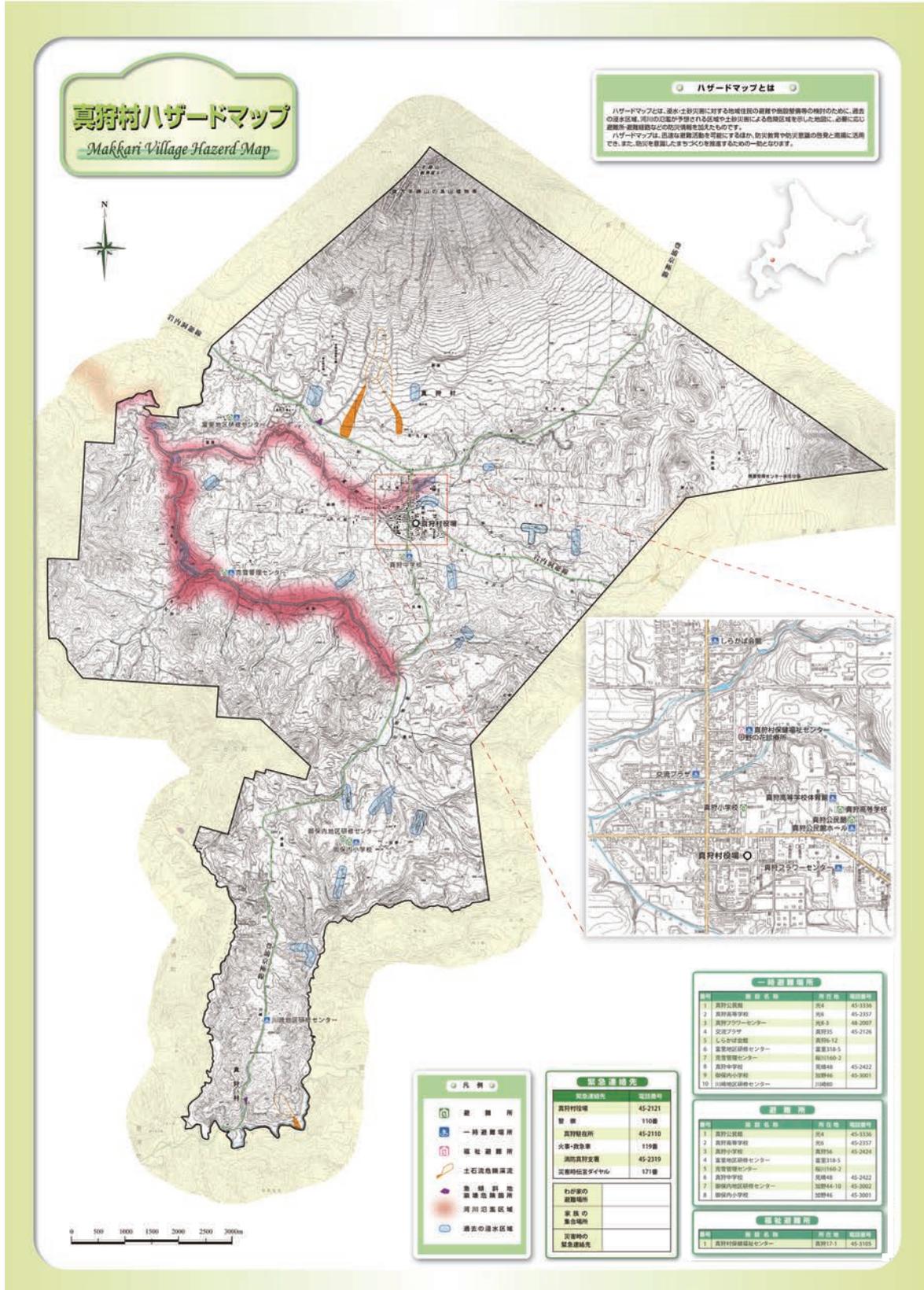


AED（自動体外式除細動器）設置箇所

- 消防真狩支署
- 真狩小学校
- 公民館
- 北海道信金真狩支店
- 野の花診療所
- 羊蹄園
- 交流プラザ
- まっかり温泉
- 真狩中学校
- 御保内小学校
- 種苗管理センター
- 森林学習展示館
- 真狩村役場

◀ハザードマップ▶

ハザードマップとは、浸水、土砂災害に対する地域住民の避難や施設整備等の検討のために、過去の浸水地域、河川の氾濫が予想される区域や土砂災害による危険区域を示した地図に、必要に応じ避難場所・避難経路の情報を加えたものです。迅速な避難活動を可能にするほか、防災教育や防災意識の啓発と紅葉に活用でき、また、防災を意識したまちづくりを推進するための一助となります。

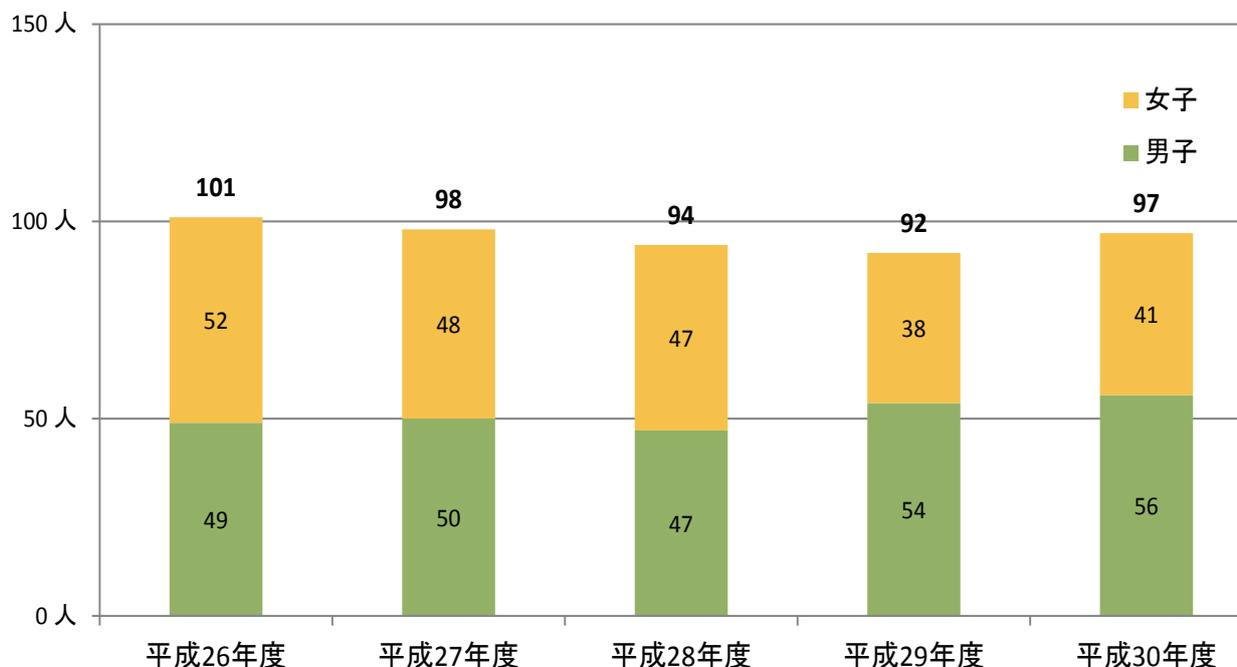


10 真狩村の教育

真狩村には、小学校2校、中学校1校、高等学校1校があり、確かな学力と豊かな心、健やかな体を育成し、生きる力を育む教育を推進しています。

真狩高等学校は、平成25年度に新コースを設立し、野菜製菓コースと有機農業コースに分かれ、地域産業を担うスペシャリスト育成の場として村内外から進学しています。また、高等学校まで学校給食を提供し、地元特産物の活用に務めています。特に人気のまっかり給食週間は、真狩産の食材がたっぷりと盛り込まれ、地元特産物の知識が深まります。

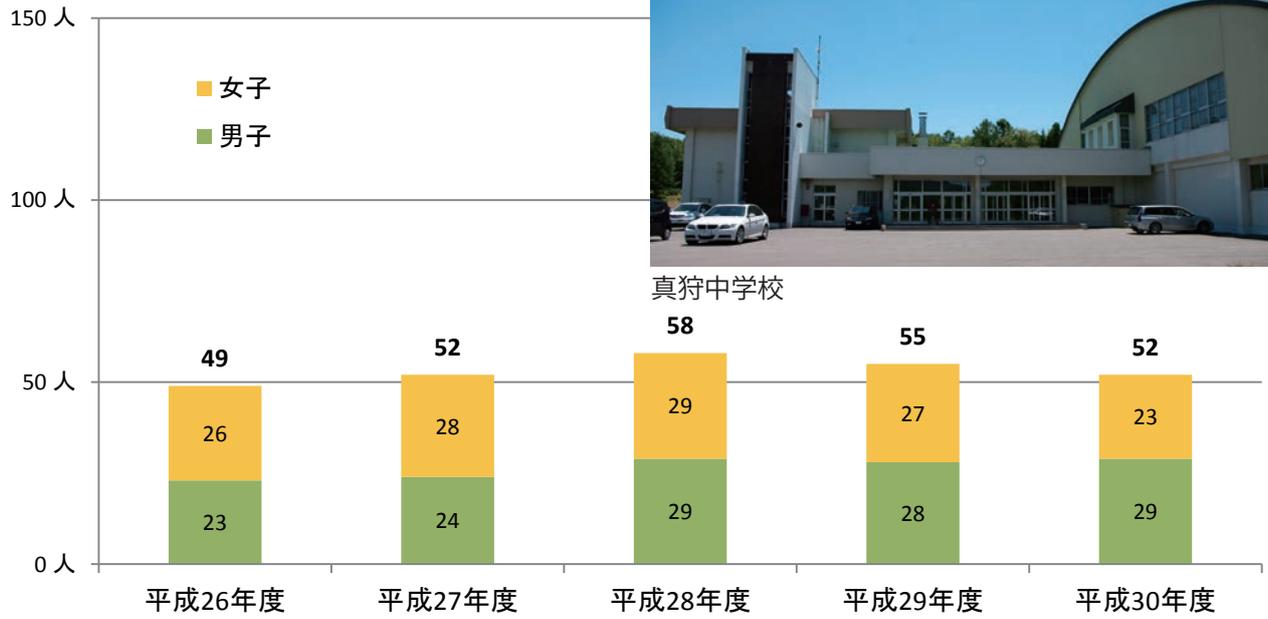
◀ 学年男女別 ▶ (学校基本調査等)



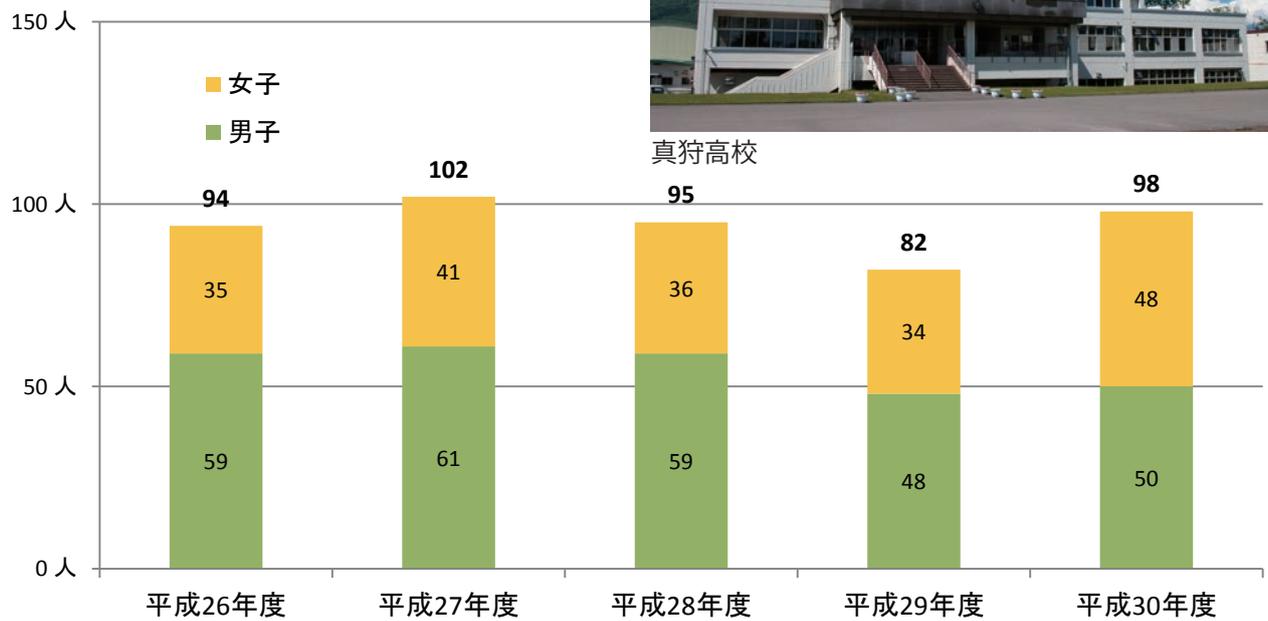
真狩小学校



御保内小学校



真狩中学校



真狩高校

「まっかり給食週間」ある日の献立

- ごはん（真狩産ななつぼし）
- ハーブ豚のすきやきに（真狩産ハーブ豚、リーキ、人参、玉ねぎ、湧水の里の豆腐）
- かぼちゃのホワイトソースがけ（真狩産かぼちゃ）
- だいこんのみそ汁（真狩産大根、湧水の里のあぶらあげ）



La mikka



・真狩高校生が運営する、道の駅真狩フラワーセンターの高校生カフェ「Lamikka」では、真狩産の野菜を使ったベジタブルスイーツが人気です。ゆり根やブロッコリー、アスパラなどを使い、村の新しい特産品を生み出しています。



高校生カフェ

La mikka

～素材のわかる、パティシエの卵～

道の駅 真狩フラワーセンターで！

5/2(SAT) 11:00 OPEN

副店長

店長

私たちは、平成25年度に真狩高校に新しく誕生した野菜製菓コースで学んでいます！農業と製菓の両方を勉強している私たちだからこそ、**素材のわかるパティシエの卵**として、**素材を生かしたお菓子作り**を目指します！まだまだ未熟ではありますが、一生懸命作りますので、ぜひ来てください！！

MENU

- ・イチゴのショートケーキ
- ・シュークリーム
- ・季節のモンブラン
- ・焼菓子
- ・パン
- ・ロールケーキ (実演) などを販売します。

OPEN 11:00
～CLOSE 16:00

● オープン予定日 ●

5/2・3・9・30
6/20・28
7/4
8/8・9・29
9/6・26
10/24
11/7・21
12/12・19
1/16・30
2/11・27
3/12・19

※今年度は24回を予定していますが、都合により変更になる場合がありますので、ご確認の上、ご来店下さい。

La mikka

～素材のわかる、パティシエの卵～

【住 所】道の駅 真狩フラワーセンター内
虻田郡真狩村字光8番地3
【問合せ先】北海道真狩高等学校
TEL:0136-45-2357
URL: <http://www10.ocn.ne.jp/~makkari/>

● 道の駅 真狩フラワーセンター ●
La mikka ホクレン
ールスツ スタンド ●

● 公民館 ● 真狩高校 ● 消防署

11 真狩村の文化・スポーツ

野 球やバスケットボール、短歌や書道、カラオケなど様々な団体・サークルが活動しています。各保存会を中心とした郷土芸能の継承にも力を入れており、「浦安の舞」や「真狩祝太鼓」は地元高校生の取り組み・協力によって村の祭りなどで披露しています。



◀ 文化活動団体紹介 ▶

サークル・団体名	代表者・連絡者	活動日・活動場所
真狩短歌会	筒井 淑子	活動日等については問合せ
書道「温知会」	大平 文子	毎週水曜日19:00~21:00 公民館和室
詩吟サークル	仁司 忠志	活動日等については問合せ
絵画「洋彩会」	仁司 忠志	活動日等については問合せ
石州流茶道会	漆原 千鶴子	活動日等については問合せ
華道サークル	山田 かすみ	毎月第2・4水曜日18:00~19:00 公民館和室
社交ダンス 「すみれ会」	橘 正子	毎月第1・3日曜日19:00~20:30 公民館大ホール
日本舞踊「泉喜会」	福田 恵子	活動日等については問合せ
大正琴「紅丸琴の会」	萬年 文子	毎週水・金曜日17:00~19:00 保健福祉センター
まっかり古箏の会	谷岡 千八子	毎月第1・3金曜日14:00~17:00 保健福祉センター
燃やす！運動部	佐々木 美由起	毎週木曜日19:00~21:00 公民館会議室
子育てサークル 「バンビの会」	筒井 沙里	毎週木曜日10:30~12:00 保健福祉センター他
読み聞かせ ボランティア 「おはなしポテト」	浦 美加	毎週水曜日19:30~21:00 公民館会議室 ★公民館や子育てサークル等で読み聞かせボランティアをしています
ブックスタート ボランティア 「すくすくぶっくの会」	川口 明美	赤ちゃん相談時など月1回程度 保健福祉センター ★ブックスタート等で赤ちゃんに絵本の読み聞かせをしています
陶芸サークル	西村 真理子	毎月第1火~土曜日9:00~16:00 公民館陶芸室

サークル・団体名	代表者・連絡者	活動日・活動場所
ゆみ琴の会	野々村 都子	第1・3金曜日13:00～15:00 保健福祉センター
真狩祝い太鼓保存会	下 隆志	活動日等については問合せ
浦安の舞保存会	徳田 修一	活動日等については問合せ

※代表者の連絡先は、教育委員会社会教育係へお問い合わせください



◀ 体育・スポーツ団体紹介 ▶ 学校施設などを利用して活動している団体

サークル・団体名	代表者・連絡者 及び電話番号	活動日・活動場所
バスケットボール連盟	武田 保 ☎090-1643-6046	20:00～21:00 真狩中学校体育館
		活動日等については問合せください
フットサル愛好会	梶谷 昭彦 ☎45-2179	毎週水曜日（10～3月） 19:00～21:00 真狩高校体育館
スリッパ卓球	佐藤 広大 ☎45-3336	毎週木曜日（6～7月） 19:00～21:00 真狩小学校体育館
		毎週木曜日（10～1月） 19:00～21:00 御保内小学校体育館
ソフトバレー同好会	西村 真理子 ☎45-3420	毎週木曜日19:00～21:00 真狩高校体育館
フレッシュバレー （ソフトバレー）	加納 美枝子 ☎48-2525	毎週火曜日19:00～21:00 真狩高校体育館
バレーボール愛好会	浦 美加 ☎45-3281	毎週金曜日（5～10月） 19:30～21:00 真狩中学校体育館
		毎週金曜日（11～4月） 19:30～21:00 真狩高校体育館
野球協会	山本 貴士 ☎45-2319	毎週月～金曜日 19:00～21:00 総合グラウンド（5～9月）

◀ 体育団体 ▶

サークル・団体名	代表者・連絡者 及び電話番号	活動日・活動場所
陸上連盟	石村 淳 ☎45-2556	活動内容等については問合せください
野球連盟	長船 敏行 ☎45-2121	活動内容等については問合せください
スキー連盟	川西 明広 ☎45-3218	活動内容等については問合せください
パークゴルフ協会	徳田 修一 ☎45-2303	活動内容等については問合せください
ゲートボール連盟	小林 信夫 ☎45-2512	活動内容等については問合せください
バスケットボール連盟	武田 保 ☎090-1643-6046	20:00~21:00 真狩中学校体育館
		活動日等については問合せください

また、一般開放として、毎週土曜日午後7時～午後9時（5～10月）、午後6時30分～午後8時30分（11月～4月）まで、真狩高校体育館を開放しています。



体育館内観 フロアカーリング



体育館外観

活動種目及び用具

- ソフトバレー（支柱・ネット・ボール）
- バドミントン（支柱・ネット）
- 卓球（台・ネット）
- ミニテニス（用具一式）
- フロアカーリング（用具一式）

◀生涯学習▶

生涯にわたって、村民一人ひとりが生きがいを持ち充実した生活を送るために学びつづけることを目指して、真狩村は、昭和56年に北海道で1番目、全国でも3番目に「生涯学習の村」を宣言しました。各種講座開催や生活学習情報の提供、指導者の育成に努めています。

生涯学習の村宣言（昭和56年9月25日制定）

- 1 より豊かに生きるために自ら学習につとめます。
 - 2 よりよい学習環境づくりにつとめます。
 - 3 よりよい地域社会の創造につとめます。
- ここに全村民とともに真狩村を「生涯学習の村」とすることを宣言します。

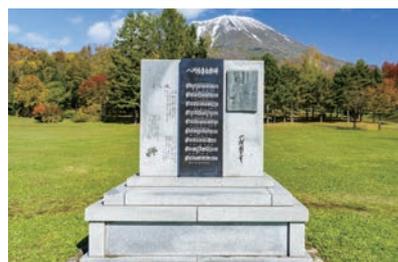
◀主な文化人▶

ゆかりのある著名人には、演歌歌手の細川たかしさん、作曲家の八洲秀章さんがいます。

やしま ひであき
八洲 秀章 1915年6月2日-1985年12月30日

「あざみの歌」「さくら貝の歌」「まりもの歌」等のヒット曲で知られ、日本レコード大賞童謡賞や勲四等瑞宝賞叙勲など、輝かしい功績を残した作曲家・八洲氏は真狩村の出身（本名：鈴木義光）。真狩村村歌、村内小学校の校歌の作曲、真狩祝太鼓の楽譜指導など献身的な貢献をされ、真狩村文化功労者でもある。故郷の誇りでもある八洲氏の偉業を讃え、音楽碑、生誕の地碑が建立されています。

村では、八洲氏の生涯を綴った「さくら貝の歌」を販売。



八洲秀章顕彰音楽碑



八洲秀章生誕の地碑

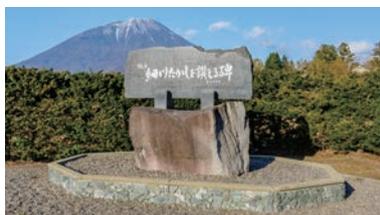
細川 たかし 1950年6月15日-

真狩村出身の演歌歌手・細川氏は、1975年に「心のこり」でデビューし各新人賞を受賞、1982年「北酒場」、翌年「矢切の渡し」とヒット曲を連発し、日本レコード大賞を2年連続受賞。1980年には村民栄誉賞を受賞。

村には、細川氏に縁のあるスポットが数多くあります。



細川たかし記念像



細川たかしを讃える碑



細川たかし生地の碑



1857 ~ 1906

真狩村のあゆみ

- 1857** 安政4年 ● 幕吏松浦武四郎の「後方羊蹄日記」に記述される
- 1895** 明治28年 ● 虻田郡を一円とする虻田戸長役場生まれる
香川・福島県人5戸18名がマッカリベツ原野に移住
【真狩村の開基となる】
- 明治29年 ● 北9線に小祠建立、八幡大神を創祀（真狩神社前身）
マッカリベツ原野で野火発生、大火となる
- 明治30年 ● 虻田村から※真狩村として分村独立し、戸長役場を留寿都村に置く
【※真狩村とは大正11年まで留寿都村を含む】
- 明治31年 ● 真狩村尋常小学校創立
- 明治32年 ● ※真狩別駅通所創設
【※真狩別とは現在の真狩村の地域をいう】
- 1900** 明治33年 ● 羊蹄山山火事発生、山林1000町歩焼く
- 明治34年 ● ※真狩村から狩太村（現ニセコ町）が分村独立
御保内駅通所創設
- 明治35年 ● 弁辺～真狩別間道路開削完成
- 明治36年 ● チライベツ原野30万坪の国有未開地予定存置の許可を19名が受ける
- 明治37年 ● 御保内簡易教育所開設（御保内小学校前身）
- 1905** 明治38年 ● 御保内簡易教育所付属御保内特別教授所設置（旧川崎小学校前身）
- 明治39年 ● ※真狩村二級町村制施行
真狩別巡查駐在所設置
真狩神社の創設許可
知来別簡易教育所開設（旧知来別小学校前身）

1910

- 明治40年 ● 真狩別に郵便等取扱所開設（真狩郵便局前身）
御保内簡易教育所が御保内尋常小学校となる
- 明治41年 ● 羊蹄山火事
御保内郵便局無集配業務開始
真狩別郵便局無集配業務開始、電話布設
知来別簡易教育所が知来別尋常小学校となる
- 明治42年 ● 帝国製麻株式会社真狩製線所創業
真狩神社建築落成
真狩尋常高等小学校7学級編成
- 明治43年 ● 室蘭支庁管轄から後志支庁管轄へ移す
有珠山大噴火、避難民が御保内方面へくる
真狩尋常小学校付属第2特別教授所開設（旧富里小学校前身）
帝国製麻株式会社真狩製線所内に野球チーム結成
- 明治44年 ● 留寿都～真狩別～狩太間道路改良工事竣工
真狩別郵便局舎新築
大正元年 川崎農場開放、33名に全地譲渡

1915

- 大正2年 ● 真狩別勤労組合設立
御保内特別教授所を移転（現川崎）
開村以来の暴風雨発生、大凶作になる
- 大正3年 ● 北海道庁によるマッカリベツ原野防風林調査
俳句吟社「青蛙吟社」結成
金刀比羅神社創建（現桜川）
- 大正4年 ● 真狩別村西部全焼（第1回大火）
スキー指導始まる
真狩村消防組第二部（真狩別）発足
- 大正5年 ● 真狩別郵便局、簡易保険業務開始
- 大正6年 ● ※真狩村から喜茂別村が分村独立
真狩別消防組が発足
- 大正7年 ● 真狩別郵便局長が雪中に殉職、忠犬ポチ話題となる
真狩別電話開通、真狩別郵便局電話交換業務開始する
- 大正8年 ● 真狩神社・社殿・社務所落成、村社となる
農村電化会社設立、現泉水源地に発電所建設着工

1920

- 大正9年 ● 羊蹄山山地崩壊（現社・泉・新陽）耕地覆滅80町歩
- 大正10年 ● 真狩別市街地東部殆ど全焼（第2回大火）
真狩別郵便局焼失
羊蹄山高山植物が天然記念物に指定される
- 大正11年 ● 真狩村から真狩別村分村独立、二級町村制施行
真狩別郵便局舎新築
真狩別発電所完成、真狩別市街地へ送電点灯
- 大正12年 ● 羊蹄山登山路真狩口開かれ、神社社務所にて杖、草鞋を販売
- 大正13年 ● 真狩別駅逕所廃止
- 大正14年 ● 真狩別村衛生組合発足
狩太～留寿都間5人乗りバス運行

1925

- 昭和元年 ● 真狩苗圃新設
青年訓練所設置
- 昭和2年 ● 帝国製麻株式会社真狩製線所閉鎖
- 昭和3年 ● 羊蹄山麓第5区集落、山津波に襲われる
真狩尋常高等小学校新築移転（現在地）
- 昭和4年 ● 真狩別村農事実行組合設立

1930

- 真狩別村信用購買組合（通称産業組合）設立
- 昭和5年 ● 真狩別村・喜茂別村 村界協定締結
馬鈴薯の薬剤防除始まる
- 昭和6年 ● 真狩苗圃入り口にカツラを植栽（樹木園カツラ並木）
産業組合店舗開設
低温、日照不足による大凶作
- 昭和7年 ● 学童に野球指導始まる。野球盛んになる
産業組合組織変更、保証責任真狩別村信用購買販売利用組合となる
低温多雨による水害凶作
- 昭和8年 ● 産業組合に肥料配合所・精米工場倉庫等を建築
産業組合青年連盟結成
御保内・南御保内・知来別・富里各小学校校舍改築
- 昭和9年 ● 真狩別・知来別・御保内の各共同火葬場建設
村営家畜診療所設置
低温寡雨・冷害霜害による凶作

1935

- 昭和10年 ● 殖民軌道真狩別～狩太間開通
真狩別村開発期成会発足
- 昭和11年 ● 小水力自家発電により見晴地区13戸点灯
- 昭和12年 ● 季節保育所設置
澱粉製粉工場落成
- 昭和13年 ● 豪雨災害発生、前田橋流出
- 昭和14年 ● 真狩別村消防組を警防団と改称
南御保内青年学校設置

1940

- 昭和15年 ● 真狩別村国民健康保険組合設立
真狩別村立共済病院設置（村・産業組合の共同経営）
真狩村出身の作曲家八洲秀章、「高原の旅愁」でデビュー
- 昭和16年 ● 真狩別村を真狩村に改称
真狩尋常高等小学校付属第2特別教授所が富里小学校に昇格改称
御保内駅通所廃止
- 昭和17年 ● 開村記念式挙行
追補責任真狩村森林組合設立
- 昭和18年 ● 標準農村に指定される
道南バス狩太～留寿都間、夏期運行開始
- 昭和19年 ● 真狩村農業会設立（産業組合・農会統合）
開拓50周年記念式典挙行

1945

- 昭和20年 ● 真狩村村立共済病院休業
第1次集団帰農者（開拓農兵隊）入地
第2次集団帰農者入地
軍国主義的教材の削除実施
- 昭和21年 ● 後志毛皮工業株式会社設立
真狩共栄製材株式会社設立
真狩村青年団結成（青年団体協議会前身）
真狩村4Hクラブ発足
- 昭和22年 ● 民選初代村長大西佐源太就任
国民学校を小学校と改称、真狩中学校・御保内中学校創設
第1回村議会選挙執行（定員16名）
真狩村開発期成会設立
真狩村選挙管理委員会設置
真狩村製菓会社設立
直営真狩国民健康保険病院開院（共済病院から移行）
農林水産省後志馬鈴薯原原種農場創設

1950

- 昭和23年 ● 役場庁舎新築落成
 真狩村農業協同組合設立
 真狩村農業共済組合設立
 真狩村森林愛護組合設立
 統計事務所真狩出張所開設
 真狩村体育協会発足
 桜川地区等55戸に送電点灯
 京極～真狩～豊浦間国鉄バス運行
 真狩村伝染隔離病棟新築
 真狩中学校新校舎落成移転（光6番地）
- 昭和24年 ● 真狩村連合自警団発足
 真狩村国民健康保険運営協議会設置
 真狩村国民健康保険病院開業（公営に移行）
 真狩村共済組合家畜診療所開設
 真狩村電気利用組合設立
 真狩村農民同盟結成
 真狩村観光協会設立
 真狩村北海道食料事務所真狩出張所開設
 真狩村森林組合設立
 真狩村警防団から消防団に改組
 真狩小学校増改築施工
 御保内中学校新校舎落成
 倶知安農業高校真狩分校開校
 真狩公民館新築
- 昭和25年 ● 日本通運真狩事業所開設
 模範林集落ほか220戸点灯
 豊川郵便局開設
 真狩村社会教育委員設置
 真狩中学校屋内体育館落成
 小樽土木現業所真狩出張所開設
 真狩村農村電化組合設立、送電開始
- 昭和26年 ● 村内有線放送開始（620戸）
 真狩村固定資産評価委員会設置
 真狩村総合振興第2次5ヵ年計画策定
 真狩小学校美原分校開校
 真狩村監査委員設置
 知来別に道南バス運行開始
 真狩村農業委員会設置
 真狩村消防本部庁舎落成
- 昭和27年 ● 境界変更で狩太町の一部（字峠）を編入
 老人クラブ発足
 真狩村教育委員会発足
 倶知安農高真狩分校が真狩高等学校として独立
 真狩～狩太間をブルドーザーで除雪、道南バス冬季運行を開始
 見晴電気組合設立
 村農協青年部設立
- 昭和28年 ● 国保病院御保内診療所開設（神里）
 殖民軌道真狩線廃止
 後志信用金庫真狩支店創業
 美原小学校独立校舎完成
 柔道館・剣道館開設

1955

- この年冷害凶作
- 昭和29年 ● 村農協婦人部結成
真狩村民生委員設置
真狩村土地改良区設立
真狩村養豚組合設立
留寿都・真狩両村合併の知事勧告受ける
真狩高校独立校舎落成
台風15号来襲、被害甚大
- 昭和30年 ● 真狩村総合グラウンド、公認陸上競技場として認定
真狩神社社殿改築
道南バス真狩営業所開設
- 昭和31年 ● 公営住宅（12戸）の建設始まる
御保内公民館新設
日本ボーイスカウト虻田第2大隊（真狩）結成
この年凶作冷害
- 昭和32年 ● 広報まっかり発行
真狩村・留寿都村の合併は中止となる
- 昭和33年 ● 北海道食料缶詰株式会社真狩工場創業
真狩火葬場新築落成
真狩村交通安全協会発足

1960

- 昭和34年 ● 真狩小・中学校牛乳給食開始
真狩神社祭典に「奴さん」を初披露
- 昭和35年 ● 新田汀花句碑、大西佐源太彰徳碑建立
真狩小学校給食室完成・給食開始
真狩市街地を真狩町内・錦町内の2自治会に分割
- 昭和36年 ● 行政刷新協議会設置
真狩村国保病院改築
原田歯科医院開業
自衛隊薯堀援農に来村（120人）
ユリ根栽培が本格的に開始（斉藤行雄）
東食農産真狩工場創業（昭和50年5月閉鎖）
村バレーボール女子チーム全国大会出場
- 昭和37年 ● 真狩村体育指導員制度発足
自衛隊員援農来村（180人）
真狩村市街地簡易水道完成
谷岡農機顕彰碑建立
- 昭和38年 ● 横内宝嶺句碑建立
真狩村商工会創立
まっかり保育園完成、開設
真狩市街地舗装道路完成
村農協事務所・店舗落成
真狩中学校寄宿舎落成
老人クラブの名称を「真鶴会」とする
この年冷害凶作
- 昭和39年 ● 真狩村開村70周年記念式典挙行
作曲家八洲秀章郷土訪問ショー開演
株式会社ホクリョウ養鶏場進出
この年冷害凶作
- 昭和40年 ● 『真狩村史』発行
農業構造改善事業（第1次）の指定を受ける
真狩神社銅板鳥居建立

1965

1970

1975

- 真狩村村営プール完成
 村立真狩へき地保育所・御保内へき地保育所設置
 真狩村自家用電気施設を北電へ移管
 商工会青年部発足
- 昭和41年 ● 真狩村婦人団体連絡協議会発足
 真狩村百合根生産組合設立
 まっかり母と子の家竣工
 羊蹄合理化澱粉工場完成
 真狩高校体育館完成
- 昭和42年 ● 真狩村スポーツ少年団発足
 真狩・留寿都・京極テレビ受信対策協議会発足
 真狩地区テレビ対策協議会発足
 食料事務所真狩出張所建設
- 昭和43年 ● 第2次農業構造改善事業計画樹立
 真狩小学校開校70周年記念式典挙行
 第1回自治功労者表彰式挙行
 御保内児童館落成式
 真狩村給食センター完成、全校給食開始
 NHKテレビ軍人山に放送中継局設置
- 昭和44年 ● 地籍調査事業開始
 南羊蹄地区農業改良普及所開設
 札幌スキー協同組合真狩工場創業
 真狩郵便局舎新築落成
 小樽土木現業所真狩出張所庁舎落成
 老人家庭奉仕員設置
- 昭和45年 ● 保健婦を常設
 美原牧場完成、入牧開始
 真狩高校温室完成
- 昭和46年 ● 村営代替バス運行開始
 御保内小・中組立式プール設置
 真狩小学校児童交通安全子供自転車全国大会出場
 役場新庁舎落成
 御保内地区農業用水完成
- 昭和47年 ● 東部地区農業構造改善事業着工
 真狩高校作業準備室、農作業室完成
 老人憩いの家・児童館完成
- 昭和48年 ● 真狩テレビ共同受信施設組合設立
 真狩村商工会館落成
- 昭和49年 ● 真狩村商工婦人部発足
 農業青年会発足（青壮年会、農研グループ合併）
 統合真狩中学校開校
 通学バス運行開始
 知来別小学校開校70周年記念式典挙行
 御保内小学校開校70周年記念式典挙行
- 昭和50年 ● 細川たかし、歌謡曲「心のこり」でデビュー
 南羊蹄地区農業改良普及所庁舎落成式
 川崎小学校開校70周年記念式典挙行
 開村80周年祭を挙行、開拓の碑を建立
 真狩祝い太鼓を披露
 老人福祉寮建設
- 昭和51年 ● 真狩村観光協会設立

1980

- 真狩小学校児童が交通安全子供自転車全国大会出場
真狩村体育の日設定。第1回マラソン大会
- 昭和52年 ● 有珠山噴火で全村火山灰の甚大な被害
克雪管理センター建設
御保内地区簡易水道完成
- 昭和53年 ● 真狩小学校新築落成、創立80周年記念式典挙行
土地改良事業真狩詰所新築
御保内小学校校舎新築落成
真狩高校創立30周年記念式典挙行
- 昭和54年 ● 富里小学校開校70周年記念式典挙行
森林学習展示館完成
陶芸焼物作業場完成、サークル発足
知来別生涯教育振興会設立
- 昭和55年 ● 羊蹄青少年の森、羊蹄自然の家オープン。公民館新築落成
第1回産業まつり開催
女性ドライバークラブ発足
羊蹄山ろく消防組合消防署真狩支署庁舎落成式
- 昭和56年 ● 生涯学習の村宣言
富里生涯学習会設立
美原小学校開校30周年記念式典挙行
真狩高原スキー場完成
- 昭和57年 ● 地区再編農業構造改善事業認定
羊蹄山企業組合設立
美原生涯学習会設立
御保内生涯教育振興会設立
真狩高校校舎落成
百合根茎頂点培養施設完成
道立水産孵化場真狩支場開場
富里地区研修センター完成。村営グラウンド夜間照明施設完成
- 昭和58年 ● 東部地区友の会（生涯教育振興会）設立
錦町内生涯教育学習会設立
韃馬競技大会開催
金刀比羅宮落成式挙行
まっかり保育所改築落成式
農村情報無線局開設
真狩町内生涯学習会設立
- 昭和59年 ● 真狩村土地改良区解散
第1回まっかり福祉まつり開催
「細川たかし芋ほりコンサート」開催
御保内地区多目的研修センター完成
- 昭和60年 ● 川崎研修会館完成
ゲートボール場完成
羊蹄山自然公園研修施設完成
村役場庁舎増築
- 昭和61年 ● 細川たかしを讃える碑建立
ニセコテレビ中継所開設
社地区水道拡張工事施工
後志馬鈴薯原原種農場を種苗管理センター後志農場と改称
- 昭和62年 ● 真狩村テレビ共同受信施設組合解散
特別養護老人ホーム真狩羊蹄園開園
農業振興センター完成

1985

1990

- 昭和63年 ● 『忠犬ポチ』69年ぶりに帰村
 ● 特産物販売センターがオープン
 真狩村森林組合、京極町森林組合へ合併
 真狩高校創立40周年記念式典挙行
 石村北泉歌碑建立
 郷土資料館「羊蹄ふるさと館」完成
- 平成元年 ● 知来別地区生涯教育10周年記念式典（2月）
 土産菓子「たかしせんべい」発売（4月）
 羊蹄ふるさと館開館（5月）
 塵芥焼却炉修抜火入式挙行（12月）
 清野歯科医院開業
 婦人防火クラブ発足（12月）
- 平成2年 ● 村づくり研究会発足（1月）
 温泉ボーリングにより温泉湧出（6月）
 ㈱ホクリョウ真狩養鶏場撤去（7月）
 農協花卉集出荷貯蔵施設竣工（9月）
- 平成3年 ● 美原小開校40周年記念式典（8月）
 生涯学習の村宣言10周年記念のつどい開催（9月）
 香川県大野原町と姉妹提携（10月）
 真狩ふれあいの森オープン（10月）
 八洲秀章顕彰音楽碑除幕式
- 平成4年 ● UHB開局20周年記念ドラマが真狩村を舞台に撮影（3月）
 ふれあい広場パークゴルフ場オープン（7月）
- 平成5年 ● 香川県大野原町開基350年祭に浦安の舞が出演（5月）
 北海道消防操法訓練大会小型ポンプ操法の部で真狩消防団が優勝（8月）
 交流プラザオープン（8月）
 国松登ギャラリー開館（11月）
 まっかり温泉仮オープン（12月）
 真狩村史（開基100年）発刊（12月）
- 平成6年 ● 真狩村村歌が村歌に制定（3月）
 開基百年記念式典挙行（7月）
 開基百年モニュメント「翔」、細川たかし像建立（7月）
 まっかり温泉完成（8月）
 知来別小学校開校90周年記念式典（8月）
 御保内小学校開校90周年記念学芸会（11月）
 統合真狩中学校開校20周年記念式典（11月）
- 1995 平成7年 ● 真狩川河川公園が建設省「手づくり郷土賞」受賞（7月）
 第1回ジャパンカップパークゴルフ選手権大会 in 真狩開催（7月）
- 平成8年 ● 国松登ギャラリー来館者1万人達成
- 平成9年 ● 真狩村農協が周辺8農協と合併し「ようてい農協」誕生（4月）
 真狩村デイサービスセンター開所（4月）
 真狩消防団に女性団員誕生（6月）
 レストラン・マッカーリーナ、フラワーセンター、世界のユリ園コテージ開設（6月）
 真狩村赤十字奉仕団結成（7月）
 マヌカン・ビス広場オープン（7月）
 八洲秀章氏13回忌記念「音楽のつどい」開催（9月）
- 平成10年 ● 「むらこん24」真狩村にて開催（8月）
 （合わせて細川たかしコンサート・花フェスタ・ほくほく祭りを同時開催）
 真狩高校開校50周年記念式典（11月）
 真狩小学校開校100周年記念式典（12月）

2000

- 平成11年 ● 知来別地区生涯教育振興会20周年記念式典（2月）
知来別小学校閉校（3月）
国松登ギャラリー開館5周年特別展開催（7月）
下水道事業一部地域で供用開始（11月）
保健福祉センター完成（12月）
- 平成12年 ● ゴミの有料・分別収集開始（6月）
真狩郵便局新局舎完成（11月）
- 平成13年 ● 富里小学校閉校（3月）
まっかり温泉来館者100万人達成（7月）
日の出歯科真狩診療所開業（8月）
美原小学校50周年記念式典（9月）
北海信金真狩支店新店舗完成（10月）
- 平成14年 ● 真狩・留寿都・喜茂別・京極合併研究会を設立（2月）
国松登ギャラリー閉館（11月）
食品リサイクルセンター、一般廃棄物最終処分場供用開始（12月）
- 平成15年 ● 八洲秀章氏伝記「さくら貝の歌」出版（3月）
美原小学校閉校（3月）
「さくら貝の歌」出版記念セレモニー（6月）
美原小学校閉校メモリアルイベント（7月）
「蘭越町・ニセコ町・真狩村・倶知安町合併協議会」が設立（11月）
喜茂別町が加わり「蘭越町・ニセコ町・真狩村・喜茂別町・倶知安町合併協議会」が設立（12月）
市街地再整備工事着工
- 平成16年 ● 商工会創立40周年記念式典（1月）
御保内小学校開校100周年記念式典（9月）
「蘭越町・ニセコ町・真狩村・喜茂別町・倶知安町合併協議会」解散（12月）
- 平成17年 ● 後志広域連合準備委員会の発足（1月）
真狩観光大使に細川たかしさん、黒柳真理さんを委嘱（6月）
ADSLによるブロードバンド供用開始（10月）
- 平成18年 ● 真狩川河川公園完成（4月）
野の花診療所開所（4月）
後志広域連合準備委員会事務局を後志支庁内に設置（4月）
フラワーセンターが「道の駅」としてリニューアルオープン（4月）
第1回細川たかし杯パークゴルフ大会開催（8月）
赤坂奴・浦安の舞・真狩祝太鼓を村無形民俗文化財に指定
- 平成19年 ● 包括支援センター開所（4月）
交通事故死ゼロ2000日達成（4月）
農地・水・環境保全向上対策合同調印式（5月）
後志広域連合設立（5月）
真狩村・喜茂別町・留寿都村合併研究会を設立（6月）
日本ボーイスカウト北海道連盟札幌支部キャンプ場が泉地区にオープン（6月）
- 平成20年 ● 真狩村・喜茂別町・留寿都村合併研究会から離脱（5月）
しりべし北のまるしえ開催（7月）
北海道洞爺湖サミット配偶者プログラムで、マッカーリーナ昼食会開催（7月）
（日本、アメリカ、イギリス、カナダ、ロシア、EU）
国営農地再編整備事業本工事着工（8月）
交通事故死ゼロ2500日達成（8月）
村民お祭り広場が5年ぶりに復活（9月）
八洲秀章生誕の地碑建立（10月）
真狩高校創立60周年記念式典実施（12月）
- 平成21年 ● フレッツ光によるブロードバンド市街地の一部で供用開始（1月）

2005



2010

- 知来別生涯教育振興会30周年記念式典開催（2月）
 真狩キャンプ場リニューアルオープン（6月）
 50年ぶりに熊（320kg）射止める（10月）
 交通事故死ゼロ3000日達成（12月）
- 平成22年 ● 真狩村地域子育て支援センターがオープン（10月）
 御保内小学校屋内体育館新築（11月）
- 平成23年 ● 村内全域で光ブロードバンド供用開始（2月）
 ふれあい広場パークゴルフ場リニューアルオープン（8月）
 ふるさと納税第1号（11月）
- 平成24年 ● 生涯学習の村宣言30周年記念事業開催（2月）
 北海道全域で節電要請、村は計画停電の区域外に（7月）
 ゆり姉さんが商標登録される（8月）
 北海道全域で節電要請（12月）
 役場庁舎耐震改修工事終了（12月）
- 平成25年 ● 泊発電所周辺の安全確認等に関する協定書を締結（1月）
 第1回札幌ゆりんピック開催（1月）
 全日本スノーモービル選手権シリーズ真狩大会が初開催（2月）
 真狩高校「有機農業コース」「野菜製菓コース」の新コース開設（4月）
- 平成26年 ● 羊蹄青少年の森が北海道から移管される（4月）
 真狩村地下水保全条例制定（4月）
 真狩村ふるさと納税「感謝特典制度」開始（9月）
 真狩神社創立110周年事業社務所改築竣功報告祭（9月）

2015

- 平成27年 ● 陸上自衛隊北部方面対舟艇対戦車隊と
 「災害発生時の連携に係る協定書」を締結（3月）
 道の駅真狩フラワーセンターに真狩高校生カフェ「La mikka」がオープン（5月）
 村開基120周年記念事業の一環として、真狩川河川公園にエゾヤマザクラ20本、羊蹄山自然公園にアカエゾマツ600本、カツラ20本を植樹（6月）
 村開基120周年記念式典・ふるさと発信応援ステージを開催（8月）
 「ゆりの花」、「ジャガイモの花」を村の花に指定（8月）
 ようてい・西いぶり広域連携会議設立（8月）
 地域見守りネットワーク事業「地域見守り協定」を締結
 村開基120周年記念事業の一環として、姉妹都市訪問交流事業を実施（11月）
- 平成28年 ● 羊蹄山自然公園にて、「THEキャンプフェス～山の日制定記念～」を開催（7月）
 子育て世代向け移住・定住促進住宅（見晴ハウス）が完成（10月）
- 平成29年 ● 第68回日本学校農業クラブ全国大会意見発表会にて真狩高校生が最優秀賞を受賞（10月）
- 平成30年 ● 真狩高等学校創立70周年（10月）
 まっかり温泉スリッパ卓球大会実行委員会が地域づくり表彰審査会特別賞を受賞（11月）
 真狩小学校開校120周年（12月）